

- 問1 大政奉還から王政復古の一大号令に至る歴史的な背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- 徳川慶喜は政権を返したあとも有力者として政治に参加しようとしたが、倒幕派は武力を用いてでも徳川氏を完全に排除しようとした。
 - 中央集権国家を確立するため、各地の藩主に対し、それまで領有していた土地と人民を天皇に返還させるよう命じた。
 - 欧米諸国との不平等条約を改正するために、それまでの封建的な身分制度を打破し、四民平等の社会を築こうとした。
 - 明治天皇が神に新しい政治の基本方針を誓うことで、広く公議を重んじ、知識を世界に求める姿勢を国内外に示した。
- 問2 幕末の開港に伴い、日本と欧米諸国の間で「金銀交換比率」に大きな差があったことから生じた経済的影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- 金銀の交換比率を世界基準に合わせるために幕府が銅貨を大量に発行した結果、銅の価格が急落し、主要な輸出品だった銅の貿易が途絶えた。
 - 欧米諸国から安価な金が大量に流入したことで日本国内の金貨の価値が暴落し、江戸幕府の財政は深刻なデフレーションに陥った。
 - 日本国内の金が大量に国外へ流出したため、幕府は金貨の品質を大幅に下げて交換比率を調整したが、これが激しい物価上昇を招いた。
 - 日本国内から銀が大量に流出したことで銀貨が不足し、国内の商業取引が停滞したため、幕府は海外からの銀の輸入を奨励した。
- 問3 倒幕運動が激化する過程で、それまで対立関係にあった薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬らの仲立ちによって結んだ協力関係のことを何と言いますか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- 薩長同盟
 - 尊王攘夷運動
 - 日米和親条約
 - 日英同盟
- 問4 1858年に日本とアメリカの間で結ばれた条約は、日本の主権を損なう内容を含んでいたため「不平等条約」と呼ばれます。その不平等な点について、外国人が日本で犯罪を犯した際に日本側に裁く権利がないことと、日本が輸入品に対して自由に税率を決める権利がないことの組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- 領事裁判権を認め、関税自主権がない。
 - 関税自主権を認め、領事裁判権がない。
 - 領事裁判権を否定し、関税自主権がある。
 - 参政权を認め、関税自主権がない。
- 問5 幕末の開国に伴い、産業革命を経たイギリスから安価な綿織物が大量に輸入されるようになったことで、日本国内の経済や社会にどのような影響を与えましたか。その理由や背景を含めて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- アメリカ合衆国が国内の南北戦争により輸出を停止したため、日本国内では一時的に綿織物が不足し、物価の安定に寄与した。
 - イギリス産の綿織物が高級品として普及したため、対抗して国内の綿花生産者が大幅に増産を行い、輸出額が急増した。
 - 機械生産による安価な製品が流入したことで、手作業に頼っていた日本国内の綿作や綿織物業などの伝統的な産業が大きな打撃を受けた。
 - 通商条約によって関税が日本側に有利に設定されていたため、安価な輸入品の増加が国内産業の近代化を促す好機となった。
- 問6 19世紀半ば、イギリスが清（中国）に勝利したアヘン戦争の結果は、日本を含む東アジア諸国に大きな衝撃を与えました。この戦争が日本に与えた歴史的な影響として最も適切な説明は、次のうちどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- イギリスと協力してロシアの南下を防ぐため、日英同盟を締結する直接のきっかけとなった。
 - 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。
 - 清の支配力が強まったことで、日本は清への朝貢貿易を拡大させる方針をとった。
 - アメリカ合衆国の仲介により、日本は清とともにヨーロッパ諸国との不平等条約を改正した。
- 問7 大政奉還が行われた際の政治的背景や、その後の動きについての説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- 徳川慶喜は政権を返上したが、直後に倒幕派によって天皇中心の政治を宣言する王政復古の一大号令が出された。
 - 大政奉還によって徳川家の支配力はさらに強まり、江戸幕府による政治がその後も30年以上継続した。
 - 朝廷は政権を返上された直後に、徳川慶喜を新政府の最高責任者である総理大臣に任命した。
 - 大政奉還が行われたのと同時に、全国の藩を廃止して県を置く廃藩置県が即座に実施された。
- 問8 リンカーン大統領が南北戦争のさなかに行ったゲティスバーグ演説や、当時のアメリカの状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- 貴族や地主などの特権階級による政治を否定し、国民による直接民主制を導入した。
 - 南部諸州の独立を認める代わりに、奴隷制を段階的に廃止する妥協案を提示した。
 - 奴隷解放宣言を出すことで、戦争の目的が自由と平等の実現にあることを明確にした。
 - イギリスからの独立を宣言し、国王による王政から人民を解放しようとした。
- 問9 イギリスが清との貿易赤字を解消するために構築した、19世紀前半の貿易の仕組みについて説明したものとして、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- 清から輸入した茶をインドへ転売し、その利益でインド産の綿織物を購入してイギリス国内に流通させることで、銀の流出を防いだ。
 - イギリスの綿織物をインドに売り、インドから清へアヘンを輸出させることで、代金としての銀が清からインド、そしてイギリスへと流れるようにした。
 - インドで生産された絹織物を清へ輸出し、清からイギリスへ直接支払われる銀の流れを止めることで、清の経済を圧迫させた。
 - イギリスの茶を清へ直接輸出し、その代金として清から大量の銀を得ることで、インドに対する綿織物の購入資金に充てた。
- 問10 日米修好通商条約などの不平等条約を改正することは、明治政府にとって長年の悲願でした。このうち、1911年に外務大臣・小村寿太郎が交渉にあたり、完全に回復することに成功した権利はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- 排他的経済水域の管轄権
 - 領事裁判権
 - 参政权
 - 関税自主権
- 問11 イギリスの産業革命期において、労働者が「労働組合」を結成し、団結して行動する必要があった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- 政府がすべての工場を国有化し、労働者が公務員として計画的に生産を行う仕組みを作ろうとしたため。
 - 個々の労働者では、賃金の引き上げや労働時間の短縮といった要求を経営者に認めさせることが困難だったため。
 - 機械の導入によって失業した人々が、自分たちで新しい工場を建設するための資金を出し合う必要があったため。
 - 農村で普及していた問屋制家内工業を、都市の工場労働者たちが保護・継承していく必要があったため。
- 問12 19世紀後半のアメリカ合衆国では、貿易政策や奴隷制をめぐる国内が二分されました。この対立から発展した南北戦争の最中に、第十六代大統領として「奴隷解放宣言」を出し、最終的に北部の勝利へと導いて合衆国の統一を維持した人物は誰ですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- セオドア・ルーズベルト
 - ジョージ・ワシントン
 - リンカン
 - ジョン・F・ケネディ